

併20周年記念式典

～ふるさと祭りも盛大に～

昭和三十四年に、合併促進法に基づいて旧四ヶ町村が合併（小幡町と秋畑村は昭和三十年に合併し小幡町となり、同三十四年に小幡町と新屋村および福島町の一部が合併し、甘楽町として発足以来、早くも合併二十歳の成人を迎えました。この間私たちは、祖先や先輩がたゆまない努力で築いてきた郷土をより住みよくなるために、その

長い歴史とゆたかな自然の恵みをうけつぎ、みんなで町づくりのために勤めています。町では、この意義深い二十年の歩みを礎として、わが郷土甘楽町がさらに未来へ大きく飛躍発展するのをいかにこめて、みんまで二十周年記念祭をもちあげよう、を合い言葉に、記念事業実行委員会が組織され諸行事が実施されました。

有功者・功労者表彰や 町民憲章の発表

町民憲章の発表

十月十三日の記念式典会場には二中体育館があてられ、午前十時から正午まで式典が行われました。町の表彰事例に基づき有功者表彰と善行者表彰が行われ、つづいて、自治、教育文化、社会福祉、産業振興、保健衛生など町の発展に貢献された方などに、二十周年記念功労表彰と、日常の社会生活のなかで地域のため町のためにいろいろとくくれた功績のあった方がたに感謝状が贈られました。

なお、この式典で、公務によって制定された町の木、花、鳥の発表や九月議会定例会で承認され制定された、町民憲章の発表が行われました。

これと合わせて、お祭り広場（スポーツ広場）へ、みこしをはじめ、しし舞い、かぐら、山車（だし）などもたくさん繰り出され、各地域から舞踊や婦人会の踊り、八木

節など、数々のもおしが披露されるなどして、たいへん盛大に行われ、ふるさと祭りの復元好評をはくしました。

十八人が 新有功者に

町の有功者として、斎藤正豊さん、山口一男さん、斎藤勝司さん、



▲表彰を受ける新有功者

功労者表彰受章者氏名

(順不同敬称略)

自治功労者（一六一人）

- (小幡) 有賀良 松井西蔵 北村武 有賀盛雄 梅沢義一 細谷三郎 松浦翠 中野えい 能井戸太市 松井正巳 山田昇 北村務 能井戸作蔵 梅沢福次 横尾洋次 松井竹一郎 田中長作 後藤栄太郎 桑原虎治 松浦通晴 太田益雄 山田光光 茂原壽之助 滝本海澄 斎藤茂 田村善一郎 新井佳雄 松井照蔵 (上野) 田村富雄 由田武一 田中芳男 吉田孝治 田中常雄 新井梅子 田中地雄 (轟) 高橋邦夫 柴山重八 柴山喜重郎 山田芳明 松井謙 岡本徳雄 松井道彦蔵 仲條龜太郎 田村千作 仲條鶴吉 (善慶寺) 日越元一 樺沢清次郎 大河原一三 能井戸義治 能井戸次郎 加藤森太郎 清水夫 黒沢時松 丸沢良一郎 大野武雄 高野利作 黒沢隆治 黒沢常五郎 (秋畑) 黒沢美雄 小出善美 佐藤喜好 藤丸 田村保保 田村俊司 山田鶴松 松井茂夫 加藤中重 飯塚英明 飯塚久夫 中野時二 斎藤定雄 田村富保 中野真太郎 浅野国作 中野正治 斎藤順作 斎藤繁良 佐嶋武喜 松井朝夫 松井秀夫 松井賢 (福島) 藤島千秋 清水留吉 矢島金夫 上原孝太郎 黒沢定五郎 矢島久二郎 山口新一 山田しづ 高橋マツエ 藤原三郎 黒沢元夫 岡田利平 吉田文作 尾池義雄 八木せん 内藤架波水 堀口昇 森田国夫 斎藤七郎 山口光則 山田武重郎 斎藤武夫 山口元一 山田弘之 新井貞 斎藤藤子郎 瀬下小勇 新井和夫 山田真佐雄 小林長吉 (小幡) 深沢一水 高橋純一 高木茂白 堀口幸一 大塚トキ子 佐藤三好 鈴木友吉 藤谷信義 村田やす (白雲) 神宮正吉 久保菊五郎 山田増平 大工原秀郎 野口初次 山田正雄 大河原清一 野口文五郎 野中真一 小安順祐 堀口益子 森平きよ 斎藤きみ 野口とよ 八木栄太郎 (天引) 福田与八 小柏初次郎 中島源太郎 森平善次 森平高良 森平三郎 折茂光男 峰岸高七 (金井) 大河原俊男 江原高弘 横尾正二 斎藤広吉 小林松五郎 三木いよ 大河原正之 大河原良一 三木利次 (蘆谷) 黒木豊次郎 黒沢一二 (蘆谷) 鈴木誠松 水沢仙太郎 吉田文平 (町外) 梅沢西男 佐島重司
- 教育文化功労者 (二〇人)
(小幡) 阿部隆一 長谷川新平 松井義夫 (善慶寺)